

25 journal

society&business Tokyo25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

4月28日 中里介山没後80年のイベント開催

羽村市観光協会(羽村市羽東、042-555-9667)は4月28日、同市出身の小説家、中里介山没後80年のイベント「中里介山ゆかりの地を歩く」と映画「大菩薩峠第1編 甲源一刀流の巻」上映会を開催する。

「中里介山ゆかりの地を歩く」と映画「大菩薩峠第1編 甲源一刀流の巻」上映会

羽村市観光協会

介山は若い頃「島原城」などに傾倒し、日露戦争下には「平民新聞」に反戦詩を発表した。1906(明治39)年、都新聞社に入社。文筆の才を發揮し、「氷寺の禅林寺、介山旧宅」の連載小説を手がけ、代表作「大菩薩峠」は後の大衆文学に大きな影響を与え、映画にもなった。

介山公園にある中里介山の碑(羽村市羽東)



跡、生誕地などを訪ねる。8時50分に羽村駅に集合。12時20分ごろ、同市郷土博物館で解散する。参加費は500円、定員は15人。映画「大菩薩峠第1編 甲源一刀流の巻」は1935(昭和10)年に初めて映画化された作品。机龍之助を大河内伝次郎が演じる名画を鑑賞する。プリモホールゆとりぎ小ホール(同市緑が丘1)で18時30分、上映開始。入場無料。定員は先着100人。

西隣村塾で介山の日本史授業を受ける 「先生は道を歩いても小説を構想」

今では生前の中里介山を知る人は数少ない。その一人が羽村市羽東(97)だ。大正15年(1925)年生まれ



生前の中里介山を知る羽村さん。特攻隊に志願。札は吉田松陰の辞世の句

羽村元一さん(97) 羽村市羽東 「先生が亡くなって80年、感慨深い」

で、昭和16年に高等小学校を卒業すると軍需工場に勤めた。介山が開いた西隣村塾に通った。そこでは介山から日本史を学んだ。授業はごく当たり前の。授業はごく当たり前の。記憶に強く残っているのが、道を歩いても小説の構想を練っていたらうと思われた姿だ。「きつと『大菩薩峠』のことを考えていたのでし

よう。道で行き交う時はじゃまをしてはいけないと、よけて隠れたものです」と振り返る。羽村さんは特攻隊に志願。陸軍航空隊に配属され、熊谷、桶川など飛行学校で飛行士としての訓練を受けた。「国のために真っ直ぐに前を向いていた」と羽村さん。戦後は家業の農業を営み、生きてきた。「中里先生の授業を受けた人のほとんどが亡くなってしまった。その先生が亡くなって80年、感慨深いものがあります」と目を閉じた。

開局以来の看板番組

TCN 青梅大祭を6時間生中継 カメラ10台 人々の熱気伝える

見どころ。TCNは開局当初から生中継を実施。当日はカメラ10台を持ち込み、4カ所から生中継。5人のレポーターが人々の熱気を伝える。生中継は3日(水・祝)13時~19時。4日10時~16時、5日11時~17時、19日11時~17時に再放送する。TCNに加入すれば、「地域のニュースが毎日見られる」と言われるほど、地域に浸透。生活圏の情報は重宝され、コミュニティチャンネルを楽しむに

つつじまつり 開花状況と有料期間はホームページなどでご確認ください。

— 歴史香る花の寺 —

塩船平和観音の見下ろすつつじ園には約20品種、2万本のつつじが植栽されており、早咲きのミツバツツジから遅咲きのリュウキュウツツジまで順々に咲き誇ります。船の底のようなすり鉢状の境内から見渡すつつじは広大にして華やかです。

開園時間 午前8時~午後5時

入山料 大人(中学生以上) 300円 小人(小学生) 100円 団体(20名様以上) 250円 シニア(65歳以上) 250円

真言宗醍醐派別格本山 開運厄除交通安全 **塩船観音寺** 青梅市塩船194 ☎0428-22-6677(9:00~17:00)

福生市長選、奥多摩町長選についての情報提供は東京25ジャーナル 090-8640 - 9688 岡村まで